
2020(令和2)年度 事業報告書



2020年4月1日より2021年3月31日まで

公益財団法人国際障害者年記念ナイスハート基金

2020 年度を振り返って

2020 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、当基金の事業も中止順延せざるを得なくなり、大きな影響を受けた年となりました。

「ふれあいのスポーツ広場」は、自動車総連からの物心両面にわたるご支援をいただき、全国 47 会場を計画しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、全ての日程を中止することといたしました。

なお、コロナ禍でも参加者の安全・安心を確保しながら障害の有無に関わらず楽しみながら体験し交流することのできるプログラムの開発に向けて、2 回のリハーサル大会を行い競技内容のあり方を試行錯誤して参りました。

「ノンバーバルコミュニケーションワークショップ」は、2019 年台風 15 号等の豪雨災害の被災地である千葉県内の障害者団体や施設を訪問する計画でしたが、新型コロナウイルス感染拡大のため延期といたしました。2021 年度中の実施に向けて、準備を進めて参ります。

ニュースレターについては、3 カ月ごとに当基金の活動内容を周知するために発行しておりますが、ページ数を縮小し発行いたしました。

ユニバーサルスポーツの普及に関する調査研究については、2 年次目の内容として、地域を基盤とした社会参加のためのユニバーサルスポーツの実例と障害福祉サービス事業所との連携の状況を明らかにすることを目的として、障害福祉サービス事業を主な対象として web によるアンケート調査を実施いたしました。障害のある方にとって、大きな社会資源である障害福祉サービス事業所の取組の現状と課題を整理し、地域におけるスポーツを通じた取組の拡がりを求めて、報告書をまとめました。

新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、当基金の活動も開催延期をやむ得なく判断しております。また、これに伴う景気の悪化の中で、基本財産の運用収益は限られており、経費の削減に努めながら、充実した内容とするための努力をしております。賛助会員の拡大に努めるなど、自立的な収入源確保を目指しながら、今後も、内容の充実とともに、より深化した開発、普及、育成及び調査研究事業を進めていきたいと考えております。みなさまのご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

2021 年 3 月

公益財団法人国際障害者年記念ナイスハート基金

1. ふれあいの広場事業

1.1 ふれあいのスポーツ広場の実施

共催：
自動車総連
協力：
日本福祉大学
仙台ユニバーサルスポーツ研究会



当基金の設立以来、開催を続けているこの事業は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、開催予定であった全ての日程を中止せざるを得ない状況となりました。

この状況のなかでも、安全で安心できる大会を開催するべく、共に大会を開催している自動車総連の皆様や、監修をいただいている日本福祉大学スポーツ科学部学部長の藤田紀昭先生を中心に、この事業や当基金にご協力をいただいている有識者のご意見をいただきながら、競技内容、運営方法を見直し、2回のリハーサル大会を実施することができました。

ここで得られた知見を踏まえて、より安心でより楽しめる大会とするべく研究を進めて参ります。

なお、競技は、独自の競技の開発にこだわり、開催してまいりました。

今後、さらに魅力的な競技内容を開発すると共に、参加いただく障害のある方にとってより魅力のある大会とするよう、努力を重ねてまいります。

仙台リハーサル大会

主催 自動車総連
(公財) 国際障害者年記念ナイスハート基金

協力 日本福祉大学
仙台ユニバーサルスポーツ研究会
(福) なのはな会

日程 2020年11月30日

会場 元気フィールド仙台体育館

参加者 39名

実行委員 18名 合計 57名

大森リハーサル大会

主催 自動車総連
(公財) 国際障害者年記念ナイスハート基金

協力 日本福祉大学
仙台ユニバーサルスポーツ研究会

日程 2021年3月12日(金)

会場 大森スポーツセンター

参加者 29名

2. 開発、普及および育成事業

2.1 ニュースレターの発行

3カ月に1回、賛助会員のみなさまや、事業の参加者などに当基金の活動を紹介するため、ニュースレターを発行しています。印刷物の他、ホームページ上で公開しています。

第108号－2020年6月号

寄附金、賛助会員ご入金のお礼

第109号－2020年9月号

報告／ユニバーサルスポーツの普及に関する調査研究

第110号－2020年12月号

報告／代表理事就任、代表理事辞任のご挨拶

告知／ノンバーバル・コミュニケーションワークショップ in ちば

お知らせ／特定寄附金のお願い

報告／仙台リハーサル大会

第111号－2021年3月号

報告／ふれあいのスポーツ広場 大森リハーサル大会

お知らせ／ふれあいのスポーツ広場上半期の開催日程

2021年度事業計画



巻頭／写真、ふれあいのスポーツ広場 大森リハーサル大会	1
報告／ふれあいのスポーツ広場 大森リハーサル大会	2
お知らせ／ふれあいのスポーツ広場上半期の開催日程	3
2021年度事業計画	4
賛助会員等紹介	5

111.NICE HEART 1



巻頭／写真、仙台リハーサル大会	1
報告／代表理事就任のご挨拶	2
報告／代表理事辞任のご挨拶	2
報告／代表理事就任のご挨拶	3
報告／代表理事辞任のご挨拶	3
告知／ノンバーバル・コミュニケーションワークショップ in ちば	4
お知らせ／特定寄附金のお願い	5
報告／仙台リハーサル大会	6
賛助会員等紹介	7

110.NICE HEART 1

2.2 ホームページの開設

当基金の活動予定や報告について随時更新しております。
2020 年 4 月よりデザインを一新し、ウェブアクセシビリティにも配慮した内容となっています。

ホームページの URL は、<https://www.niceheart.or.jp>



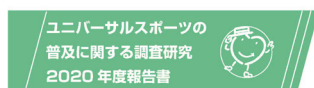
2.3 各事業報告書の発行

各種事業についての報告書を発行いたしました。当基金ホームページにおいて、掲示し無料配布しております。

(1) 2020 年度ユニバーサルスポーツの普及に関する調査研究実施報告書

発行：2021 年 3 月

頁数：50 ページ



3. 調査研究事業

3.1 ユニバーサルスポーツの普及に関する調査研究の実施

障害の有無に関わらず、誰もが共に楽しみながら体験し交流することのできる「ユニバーサルスポーツ」の取組をより拡がりのある活動として継続して進めていくために、国内でのユニバーサルスポーツの取組の要点を明らかにすると共に、障害のある方が多くの時間を過ごしている障害福祉サービス事業所の状況について、2年度にわたる調査事業を実施いたしました。

今年度は、地域を基盤とした社会参加のためのユニバーサルスポーツの実例と障害福祉サービス事業所との連携の状況を明らかにすることを目的として、障害福祉サービス事業を主な対象としてwebによるアンケート調査を実施いたしました。

一方、2020年はじめから猛威を振るっている、新型コロナウイルス感染症により、障害者スポーツの分野でも、各地の取組が大きく縮小している中で、長い年月をかけて積み重ねられてきた取組をどのような形で継続していけるのか、その取組のきっかけとして、モデルプログラムの研究も併せて行いました。

1. 研究会委員

藤田 紀昭さん 日本福祉大学スポーツ科学部長・教授

金山 千広さん 立命館大学産業社会学部教授

林田 はるみさん 桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部教授

2. 調査方法

無記名式のインターネット調査。当基金web ページ上に作成した。

3. 調査内容

主な調査項目は、以下のとおりである。

- (1) 施設・団体の基本的な属性、提供サービスの内容
- (2) サービス利用者について
- (3) レクリエーション活動について
- (4) 新型コロナウイルス感染症の影響
- (5) ユニバーサルスポーツについて

4. 調査対象及び回収結果

当基金が把握している障害者団体、障害福祉サービス事業所にe-mailにて送付したほか、全国手をつなぐ育成会連合会に協力を要請。236件の回答を得た。

- (1) 協力
一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会
- (2) 助成
(福) 黎明会福祉開発振興援助事業



ユニバーサルスポーツの普及に関する調査研究
～2020年度 障害福祉サービス事業所に対するアンケート調査に向けて～

実施主体：有識者による研究会
・藤田 紀昭さん 日本福祉大学スポーツ科学部長・教授
・金山 千広さん 立命館大学産業社会学部教授
・林田 はるみさん 桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部教授
・協賛 社会福祉法人黎明会 福祉開発振興援助事業

～研究の目的・調査対象と期間～

当基金の趣意目的である、よりよい社会づくりのための活動と共生社会づくりへの一助とするため、障害福祉サービス事業所及びユニバーサルスポーツの取組の現状と課題、障害の有無に関わらず行うことのできるスポーツプログラムの作成に寄与することを目的に、この調査を実施する。

(1) 障害福祉サービス事業所に設けるユニバーサルスポーツの取組の状況を確認する。
(2) 地域を基盤とした、社会参加のためのユニバーサルスポーツの実例と障害福祉サービス事業所との連携の状況を明らかにする。

期間：2019年度～2020年度の2年間
調査対象：2019年度・事前研究
2020年度・事後研究
ユニバーサルスポーツ実例及び障害福祉サービス事業所のスポーツに関する取組の事例研究
2019年度・障害福祉サービス事業所の調査結果
調査：ユニバーサルスポーツ広場参加の障害福祉サービス事業所に対する調査

～2019年度の報告書の発行～

スポーツを通じて、楽しみながら健康を達成することのできるユニバーサルスポーツの取組は、国、地方自治体、企業や民間の公益活動の取組として、広く推進されている。また、国、地方自治体、企業や民間の公益活動の取組として、広く推進されている。また、国、地方自治体、企業や民間の公益活動の取組として、広く推進されている。

～2020年度 アンケート実施へ～

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、2019年度には予定通り実施し、2020年度はオンラインで実施する方針となっていました。そのような困難な状況の中、私達は障害福祉サービス事業所に設けるユニバーサルスポーツの取組の状況を明らかにし、取組が広がることを目的に、10月から11月上旬までのアンケートを実施しました。

ユニバーサルスポーツを通じて、より多くの人が参加し、楽しみながら健康を達成することになり、社会がユニバーサルなものであることを目指す。ユニバーサルスポーツの取組は、国、地方自治体、企業や民間の公益活動の取組として、広く推進されている。また、国、地方自治体、企業や民間の公益活動の取組として、広く推進されている。

～2020年度の報告書の発行～

アンケートを通じて、楽しみながら健康を達成することになり、社会がユニバーサルなものであることを目指す。ユニバーサルスポーツの取組は、国、地方自治体、企業や民間の公益活動の取組として、広く推進されている。また、国、地方自治体、企業や民間の公益活動の取組として、広く推進されている。

～アンケート項目の一部抜粋～

・貴団体のユニバーサルスポーツの取組についてお答えください。
・貴団体のユニバーサルスポーツの取組についてお答えください。
・貴団体のユニバーサルスポーツの取組についてお答えください。

～アンケートご協力のお礼～

該当される障害福祉サービス事業所の方へは、このアンケートのご協力をお願いいたします。アンケートの結果は、下記URLのサイトに公開いたします。アンケートの結果は、下記URLのサイトに公開いたします。

URL: <https://survey1.or.jp/form?id=1534>
「ユニバーサルスポーツの普及に関する調査研究 アンケート調査」

・パソコンからでもスマートフォンからでもご入力いただけます。
・「送信」ボタンをクリックして送信します。
・アンケート入力期間：11月1日～11月30日

※なお、入力は無記名となっております。また、調査結果は統計処理を施して取りまとめ、公表いたします。入力内容は調査結果以外には決して使用いたしません。プライバシー保護に万全を尽くしますので、ぜひ、率直にご意見をください。

【入力上の注意】
・質問には回答の必要はありません。記入のしやすさを優先してご入力ください。
・記入のしやすさを優先してご入力ください。
・記入のしやすさを優先してご入力ください。

・お問い合わせは、ひたすらご質問の回答に努めます。お問い合わせは、ひたすらご質問の回答に努めます。お問い合わせは、ひたすらご質問の回答に努めます。

当基金が後援した事業

- ・「第２１回東京都障害者スポーツ大会」
主催：東京都、公益社団法人東京都障害者スポーツ協会
日時：１２月２日 リモート
- ・「第２７回共生・共走りレーマラソン」
主催：共生・共走りレーマラソン実行委員会
日時：中止
- ・「第４４回わたぼうし音楽祭」
主催：奈良たんぽぽの会
日時：８月２日